子どもが主人公！共に笑顔あふれる学校に

校長　成田　弥生

春爛漫、花々が咲き薫る中、お子様の御入学、御進級おめでとうございます。本日、ピカピカの新１年生４０名を迎え、猿楽小学校は全校児童２９５名で船出をしました。

今年度も新たに転入職員９名を迎え、「チーム猿楽」で、子どもたちのために力を合わせて頑張ってまいります。

猿楽小学校の教育目標は「感じ　考え　広げる　子ども」です。
今年度教育目標の「感じる」の視点として、「自己の感性を磨き、相手の気持ちを尊重し、温かいコミュニケーションを通して、人との関わりや生活を豊かにする子ども」といたしました。

未来を生きる子どもたちにとって、一人の人格として尊重されることや対話を通して、温かいコミュニケーションができることがますます大切であると思います。

始業式では２つの話をしました。「学校は何のためにあるのか」子供たちに問いかけました。

「学校は子供たちが幸せになるためにある」「自分や周りの人を幸せにするために学ぶ」と話をしました。猿楽小学校が目指すのは「自他共の幸福」です。保護者・地域の皆様と共に「子どもも大人も　笑顔あふれる学校」をさらにアップデートしてまいりたいと思います。

もう１つは「子どもの力」について話をしました。昨年度からシブヤ未来科の探究学習でも「子ども発」をキーワードに自ら考え、自分ごととして取り組めるよう児童主体の学びを展開してまいりました。その取組を通して、「子どもたちの力」でプロジェクトを大成功させ、全員でゴールできたことに大きな自信と支えてくれた方々に感謝の思いをもつことができました。

今年度も猿楽小学校では「子ども発」で教育活動に取り組み、「子どもの力で誰も取り残さない」を目指し、子どもが主体者として、どの子にとっても学校が居心地の良い場であるように全員でつくってまいります。

そのために「あいさつ名人、先に、笑顔で何度でも」と仲良くなる第一歩である挨拶にも力をを入れていきます。私たち「大人から、先に、笑顔で何度でも」と元気な挨拶が響く学校にしていきたいと思います。御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

＊令和７年度重点項目＊

○対話を通して温かいコミュニケーション

・主体的な対話のある授業（よく聴く・よく話す）
・あいさつ名人（相手意識の育成）

○「子ども発」で学びを楽しめる子の育成（自分ごとの学び）

・自ら「問い」をもつ⇒各教科で問題解決学習を授業で展開
・シブヤ未来科やすべての教育活動で学びを深められる子の育成